

令和2年度教育事業 体験！キャラバン隊



1. ねらい

近隣の幼稚園、保育所・園、小学校に出向き、体験活動の機会を積極的に提供し、普及を行う。自然体験・運動遊び・早寝早起き朝ごはん運動の3つのプログラムを用意し、今後の園や小学校での活動に繋がっていくように活動を展開していく。

2. 実施日・参加者

- 令和2年11月15日(日)
曾爾村立曾爾保育園 56名(運動遊び)
- 令和3年2月10日(水)
宇陀市立榛原幼稚園 94名(運動遊び)
- 令和3年2月12日(金)
宇陀市立菟田野こども園 38名(運動遊び)
- 令和3年2月17日(水)
宇陀市立室生こども園 36名(運動遊び)
- 令和3年3月15日(月)
宇陀市立榛原東幼稚園 36名
(早寝早起き朝ごはん国民運動・運動遊び)
- 令和3年3月16日(火)
宇陀市立大宇陀こども園 77名(自然体験)
- 令和3年3月22日(月)
宇陀市立榛原北保育園 42名(運動遊び)
- 令和3年3月23日(火)
宇陀市立榛原北保育園 48名(運動遊び)

合計 7園 / 427人

(自然体験：1園、運動遊び：6園、早寝早起き朝ごはん：1園)

3. 対象

幼稚園及び小学校

(今年度は園のみの実施となった)

4. プログラム(要約)

【自然体験】

園周辺の自然環境を利用し、日頃あまり触れることのない自然の家のキャンプ道具で遊んでもらう活動を提供した。自然の家ならではの提供活動である。園児は、テ



ントに入り寝袋にくるまったり、キャンプチェアに座りお喋りしたり、ダンボールを使ってそり滑りをしたりと思い思いに遊んでいた。また、職員と近くの丘を探索した後、自然物を使ったランチプレート想像を膨らませながら作る活動にも取り組んだ。

【運動遊び】

「36の基本的な動き」を参考に、園児が思わず体を動かしたくなるような遊びを提供し、動物の動きを真似た遊びや道具を活用し、普段の生活でも同様の運動ができるように心掛けた。多くの園から投げる力に課題があるという声があったため、的あてを必ず取り入れることと



した。最後に行った高く積んだダンボールをボールで倒す遊びでは、狙って投げるだけでなく力強く投げることもねらいとした。

【早寝早起き朝ごはん国民運動】

紙芝居を用いて普及を行うとともに、着ぐるみを活用し、早寝早起き朝ごはんを印象付け、親しみを持てるプログラム構成とした。実施した園では、はやねちゃんが登場すると園児たちから歓声が上がり、早寝早起き朝ごはん国民運動への興味関心を引き付ける内容となった。また、早寝→早起き→朝ごはん→運動→早寝のサイクルを説明した後に運動遊びのプログラムを実施することにより、「早寝・早起き・朝ごはん」と「運動遊び」の繋がりが感じられる内容となった。

5. まとめ

新たな遊びや体験を通して、園児に多くの笑顔が見られた。「まだ遊びたい」「次はいつやるの」とまだまだ遊び足りない様子だった。先生方からも「普段見られない姿を見られた」、「先生たちへ研修をしてほしい」といった要望があった。本事業に対する期待が大きいと感じた。今後は、通年での展開を目指し、より多くの園児・児童に体験活動を提供したい。

(事業推進係 佐藤 優人)